科目分類	養護教諭教職関連科目			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
14100	2	前期	選択必修	2	30
授業科目名 (英文)	教職への道 (Significance of Teaching Profession)				
担当教員名	谷尻　治				

授業の概要及び到達目標

授業の概要

教職に関する科目「教職の意義等に関する科目」に相当し、教職の意義と教員の役割についての授業である。関係法令に定められた教職と教員免許状の制度を学び、教職の実際である授業作り、子どもの理解と指導、同僚との協働、専門性の向上、改革への取り組みなどを取り上げる。

到達目標

教職の意義と教員の役割について理解し、養護教諭としての職務を理解している。望まれる教員像を描き、自らの資質、知識・技術などを鑑み、向上していこうという意欲を持ち、それを表現することができる。

準　備　学　習　等

・テキスト『新しい時代の教職入門』を購入すること。
・授業で配布するレジュメや資料の保管を確実に行うこと。
・毎回の授業後にミニレポート（感想など）を提出すること。
・課題レポートの作成方法については、授業時に説明を行う。
・テキストは、事前に関連部分を読み、理解しておくこと。
第１回：授業開始１週間前から「教育関係」の報道に注目しておく。
第２回:今まで出会った中で一番すばらしい教師のエピソードをまとめ､発表の準備をしておく。
（まとめ方は第１回授業時に指示する）
第３回：「おすすめの先生・学校」ドラマやマンガ、小説を考えてまとめておく。
第４回：第９章　時代の中の教師(pp. 173-193)
第５回：第１章　教師の日常世界へ(pp. 1-18)、 関係法令に目を通す。
第６回：事後－特別講師の講義内容要約、感想等を提出のこと。
第７回：第４章　カリキュラムをデザインする(pp. 67-79)
第８～10 回：第２章　授業をつくる(pp. 19-44)、第３章　授業から学ぶ(pp. 45-65)
第 11 回：第５章　子どもを育む(pp. 81-102)
第 12 回：第６章　生涯を教師として生きる(pp. 103-127)、
第７章　同僚とともに学校を創る(pp. 129-147)
第 13 回：第８章　教職の専門性(pp. 149-171)
第 14 回: 第９章　時代の中の教師(pp. 173-193)　第 11 章　教育改革と教師の未来(pp. 221-235)
第 15 回：ノートの整理、「学習の軌跡」の記入確認。

成績評価の方法	課題レポート（30%）、提出物（30%）、授業への参加態度（40%）
テキスト	「新しい時代の教職入門　改訂版」、（秋田喜代美･佐藤学編著：有斐閣）
参考図書	「共同グループを育てる　今こそ、集団づくり」、（舩越勝、谷尻治他：クリエイツかもがわ：2002 年）
備　　考	・第 6 回については、特別講師を予定しているので、授業日注意。 ・質問等は授業終了後、教室で受け付ける。 ・本科目は、「養護実習」の履修前提科目である。

授　業　計　画

第１回：我が国の教員養成と教員免許状のしくみ
　　授業ガイダンス、教育の基礎知識、教員免許状を取得する、関係法令
第２回：身近にみた優れた教師―振り返り
　　自分が出会った「よい先生」の記憶をたどり、そのエピソードを伝える。
第３回：身近にみた優れた教師―その要素、意見交換
　　「よい先生」の要素、基準について考え、意見交換をする。
　　小説・ドラマ・映画等々に出てくる「よい先生」も参考に。
第４回：教職の歴史
　　寺子屋の師匠以来の日本における教師像の変遷
第５回：教師の服務
　　法令に定められた「服務」の規程の理解、教師の仕事の要素と概要
第６回：養護教諭の職務の実際
　　＊特別講師を予定
第７回：カリキュラムの編成
　　カリキュラム、教育課程、教科・教科外、単元、総合学習、評価
第８回：　授業（1）単元学習　＊視聴覚教材使用
第９回：　授業（2）総合学習　＊視聴覚教材使用
第 10 回：授業（3）海外の学校の授業　＊視聴覚教材使用
第 11 回：子どもの理解と指導
　　子どもの言葉・行動と心、教師とカウンセラーの違い、教師のメンタルヘルス
第 12 回：教師のキャリア形成と同僚との協働
　　新任期・中堅期・ベテラン期、校務分掌、校内研修、教師文化・学校文化
第 13 回：教職の専門性
　　養成教育・採用・現職教育、ILO ユネスコ教員の地位勧告、教職の改革
第 14 回：時代のニーズと未来の教師
　　子どもたち・家庭や保護者・地域社会・産業界等々のニーズ
　　教育改革の中での教師
第 15 回：まとめと振り返り
　　課題レポート作成について・総括討論